

オーバースー・チャイニーズ銀行(OCBC)

2018/12期3Q(7-9月)は8.9%の増益、中国の小米と

Hanhua フィナンシャル・HD との業務提携を発表。

シンガポール | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG OCBC:SP | REUTERS OCBC.SI

- 2018/12期3Q(7-9月)は、純金利収益が前年同期比8.9%増の15.05億SGD、非金利収益は同0.4%増の10.4億SGD、純利益が前年同期比12.4%増の12.45億SGDであった。
- 貸出残高が伸びたほか、シンガポール、マレーシア、大陸中国でのマージンの改善や預貸比率の上昇により、純金利マージンが改善。
- 中国の小米とHanhuaフィナンシャル・ホールディングスとの業務提携を発表。中国で総合金融サービスの推進を目指す。

What is the news?

11/1 発表の 2018/12 期 3Q (7-9 月) は、純利益が前年同期比 12.4%増の 12.45 億 SGD であった。年換算 ROE は 12.6%と前年同期の 11.9%から改善した。純金利収益が前年同期比 8.9%増の 15.05 億 SGD となった。幅広い顧客層で貸出残高が伸びた。シンガポール、マレーシア、グレート・チャイナでのマージンの改善や預貸比率の上昇により、純金利マージンは前年同期から 6bp 上昇し 1.72%となった。非金利収益は同 0.4%増の 10.4 億 SGD と横ばいで推移。ウェルス・マネジメントやローン、貿易金融などに関わる手数料収益が同 2.9%増の 5.02 億 SGD と伸びたほか、純レーディング収益も好調だった。一方、生命保険事業からの収益が同 27.3%減の 1.84 億 SGD と落ち込んだ。前年同期に大幅に改善したシンガポールの短期金融市場の反動による短期市場収益の縮小が響いた。持分比率 87.90%の子会社 Great Eastern Holdings (GEH) ではシンガポールで一時払生命保険契約が伸び新規契約が伸長したものの、NBEV マージンの低下により新規契約のエンベデッド・バリューが減少した。

貸出残高は前年同期比 10.4%増の 2,565 億 SGD、預金残高は 6.9%増の 2,866 億 SGD。GEH で定期預金や一時払商品を含む仕組み商品の比率が高まった影響で流動性預金の比率が前年同期の 47.7%から 47.5%に低下した。預貸比率は前年同期の 85.3%から 88.5%へ上昇した。流動性に関する指標は、平均流動性カバレッジレシオはシンガポールドルに対して 232%、全通貨に対して 130%、安定調達比率は 108%であった。2018/1 より完全適用されたバーゼルIIIベースの安全性指標は、普通株式自己資本比率が 13.6%、Tier1 自己資本率が 14.4%、総自己資本比率が 16.1%。

How do we view this?

2018/12 通期市場予想は、当期利益が同 13.6%増の 47.09 億 SGD。同社は 11/2 に重慶で行われたサミットで、中国の小米と中小企業向け金融大手の Hanhua フィナンシャル・ホールディングスとの業務提携を発表。中国での総合金融サービスの推進を目指す。小米は世界第 4 位のスマホブランドで、70 カ国以上で展開。世界最大のコンシューマーIoT プラットフォームを確立している。Hanhua フィナンシャル・ホールディングスは中国全土に 28 の支店を展開し 100 万以上の中小企業の顧客基盤を持つ。

業績推移

※参考レート 1SGD=82.61円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
当期利益(百万SGD)	3,903	3,473	4,146	4,709	5,040
EPS(SGD)	0.95	0.82	0.97	1.11	1.19
PER(倍)	11.65	13.50	11.41	9.97	9.30
BPS(SGD)	8.19	8.61	9.06	9.75	10.50
PBR(倍)	1.35	1.29	1.22	1.14	1.05
配当(SGD)	0.36	0.36	0.37	0.43	0.47
配当利回り(%)	3.25	3.25	3.34	3.88	4.25

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.43** (予想はBloomberg)
終値 (SGD) **11.07** 2018/11/26

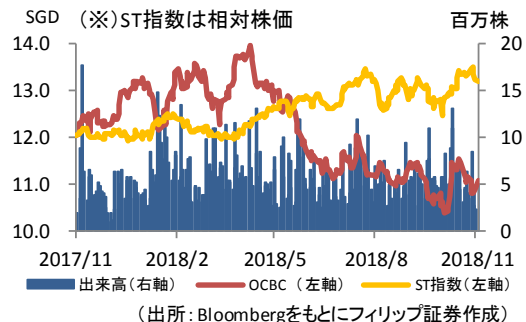
会社概要

1932年に3つの国内銀行が合併し設立。預金、法人・個人向け融資、投資銀行、プライベートバンキング、国際貿易金融、アセットマネジメント、株式注文取次、保険などのサービスを提供する。資産規模は東南アジアで第2位で、ムーディーズから最も高い格付けであるAa1を付与されている。強固な財務基盤により、金融専門誌「Global Finance」が選出する世界の安全な銀行トップ50に一貫してランクインし、専門誌「Asia Banker」によりアジア太平洋地域のベスト・マネージド・バンクに選出された。

シンガポール、マレーシア、インドネシア、および中国を主力市場として、18の国・地域に610以上の支店・駐在事務所を有する。OCBC NISP(インドネシア)では330超、香港、中国、マカオではOCBC Wing Hangにおいて100を超える支店と事務所を展開。プライベートバンキング業務をシンガポールの子会社で、生命保険はシンガポールとマレーシアの子会社Great Eastern Holdingsを通じて提供している。同生命保険のアセットマネジメント業務は、子会社である東南アジアで最大手クラスのライオン・グローバル・インベスターが担っている。

企業データ(2018/11/27)

ベータ値	1.24
時価総額(百万SGD)	46,935
企業価値=EV(百万SGD)	-
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	59.2



主要株主(2018/11)

1.Selat Pte Ltd	10.87
2.Lee Foundation	4.27
3.Singapore Investments Pte Ltd	3.69

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
+81 3 3666 6980
hiroki.iwara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。